



アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園
 ケアハウス アドナイ館
 細江デイサービスセンター
 発行責任者 河出 雅代
 〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8
 電話 (053) 439-1200 (代表)
 439-1212 (デイ直通)
 FAX (053) 439-1211
 郵便振替 00890 - 9 - 125741
 E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp
 URL: http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/



2022年度 アドナイ館希望の日



ご長寿おめでとうございます。

希望の日2022年9月17日



夏の暑さに慣れた頃、用事で愛知県奥三河へ出掛けました。地図を見たのですが、どこからが奥三河で中心街は何処か解らないままで、ただ奥三河と書かれた看板を見ながら、ここは奥三河だと頷くだけでした。

平井章著『創立の精神の継承』に、「奥三河に近い渋川に、小さな小屋が在りました」と、あります。引佐の山間部だと分かります。昭和三二年頃、夏の台風の夜、ハニ姉妹が居たその小屋に大きな落石があつたそうです。しかし、不思議にも小屋を外れ床下に滑り込んだとの事。ハニ姉妹は本当に生きた心地のしない恐ろしい体験をしたと思ひます。

しかしハニ姉妹はその切羽詰まった体験を農村で一人、孤独や寂しさを感じているお年寄りの日頃の体験に置き換え、老人ホームが必要だと信じて建設準備に取掛つたようです。

色々と知つてゐる事を、自分の事として具体的に受けとめて考える。本当に必要なことを理解し、どう生きていけばよいのかを考え行動に移す。その力に感心します。せめて、私も与えられた今日一日を精一杯生きたらばと願ひます。

(じゅげむ)



「白髪は輝く冠」

施設長 河出 雅代

アドナイ館には今年百寿を迎えられる方がいらつしやいます。

全国では四万五千人、浜松市だけでも二六九人の方が、百歳表彰の対象になるということで、そんな大勢おられるのかと驚いてしまいますが、アドナイ館では初めてのことで、自立者向けのケアハウスでは、介護や看護が必要になると住み続けることが難しくなり、介護施設に移られたり入院されたりして退居されていくからです。

ご主人を早く亡くされ、四人の子供を育てるために寝る間も惜しんで働いたというこの方は、二十年前にアドナイ館に入居されてからもできることを見つけては自分の仕事とし、「働くことが元気の秘訣」と笑ってお話くださいます。ご健康に恵まれたことは何より喜ばしいことです。

生活の不安は増えていくことは否めません。入居者同士、誰彼となく声をかけ、そつと見守り、時にはお手伝いをしてくださるさりげない心遣いがお互いの生活を支え合っていると感じます。九月十七日、希望の日の食事会の中で、百歳のお祝いとして入居者有志によるハンドベルの演奏と歌、寄せ書きが贈られました。ご本人思い出の「ゆりかごの歌」と讃美歌「いつくしみ深き」、そして「ハッピーバースデー」。桜の木を模した手の込んだ寄せ書きも素敵でした。年を取り老いていく自分を見るのは辛いと感じるかもしれませんが、「白髪は輝く冠」とあります。白髪は老いの象徴ではなく、誇るべき自分の人生そのものです。



地域のひろば

聖隷の創立者の一人、長谷川保先生が戦後の復興は教育からと「遠州キリスト学園」を創立されたことに私たちの学校は始まりました。その後、「聖隷の心(キリストに生かされる)」を持った看護師を養成する准看護学校として多くのすばらしい看護師を輩出しました。しかし、より高度な看護が要求されるようになり、短期大学を設立することに伴って、1974年、男女共学の普通科高校に移行することになりました。そして普通科高校に移行したとき、それまでの看護実習に匹敵する教育を取り入れたいとお願いから、当時の先生方で英知を結集し誕生したのが「労作」の授業です。人としての最も大切な人生の目的、生き方を観念的に学ぶだけでなく、学んだことの実践を通して体得することが大切であると考えたからです。

具体的な授業内容は①施設労

『労作～隣人愛の実践～』

聖隷クリストファー中・高等学校 大橋 秀彦
労作科

作と②校内労作の二つに分けられています。①施設労作とは：聖隷の医療・福祉・教育が一体となった全国で唯一の環境の中で、聖隷の社会福祉施設のご協力の下、生徒を受け入れていただき活動することで、今の自分と向き合い聖隷の福祉集団から生きる力を吹き込んでいただくこと。②校内労作とは：学校周辺の環境整備や道具の手入れなどと、高2生で行う学校農場の一人一坪農園で年間を通して自分の手で生命を育てること。一回一回の授業での取り組みは僅かなことであったとしても、これを積み重ね、汗を流して手足に付けた知恵や経験は一生私たちの支えとなり、一步を踏み出す勇氣を湧き上がらせてくれる力となります。コロナ感染症による制限はまだまだ続きそうですが、『労作』の授業を通して『隣人愛』を実践し、生徒たちが自立し、広く社会に貢献できる人として成長していけるよう取り組んでいきます。今後ともよろしくお願いたします。ありがとうございました。



「日毎に新しく」

—毎朝の礼拝に生かされて—

遠州栄光教会 伝道師 倉持おりぶ

遠州栄光教会の伝道師として奉仕させていただいています。倉持おりぶと申します。はじめは三方原の地を訪問したのは、二〇二一年冬で、遠州のからっ風が吹く時期のことでした。前任の山本克三牧師をはじめ教会員の方たちに案内をしていただいで、星野健牧師と聖隷グループの各施設を回らせていただきました。あらゆる施設で毎朝礼拝が捧げられていることを知り、驚きと感銘を受けました。聖隷保養園時代に朝ごとにスピーカーから流れる讚美の声、毎朝長谷川保さんがマイクで礼拝をされていたという歴史が今に引き継がれているのだと思いました。

わたしは中学二年生の時に、二週間ほどの入院と手術を経験しました。枕元に置いてある聖書を読み、主イエスが病を癒される話を読んで、慰めをいただいでいました。病は恵みの時であり、一番近くに主イエスが共にいてくださる時でありました。今でも治療法の見つからない病を治してほしいと願う日があります。わたしの願いよりも神の思いを知っていく人生に導かれていきたいと願っています。イエス・キリストは十字架の苦難のなか、父なる神に「アツバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。」（マルコによる福音書一四章三十六節）と祈りを捧げました。ご自身の願いを叫ばれる主イエスの祈りは、このように続きます。「しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」（三十六節）その後、キリストは神の御心のまま十字架にかかれ、人間の罪を贖ってくださいました。

日毎の礼拝は健やかな時も、病める時も神の思いを静かに聴き、新たにされる時となります。どうぞ今後ともよろしく願います。

たべもの — 厨房より —
128 あれこれ

西瓜



西瓜のふるさはアフリカで、水の少ない砂漠地帯では水がわりとして貴重なものでした。果肉の色は白くて固く、少し苦みもありとても美味しいとは言えないものだったようです。

日本には奈良時代に伝わり明治時代には品種改良がすすみ現在の赤くて甘い西瓜になりました。果肉が赤い西瓜にはカロテンとリコピンという色素が大量に含まれていて、これらが赤色を作っています。カロテンは身体の調子を整える働きがあります。

栄養豊富ですが食べ過ぎると身体を冷やしてしまうので気を付けましょう。

高齢者と住まい

福祉情報 — その154 —

介護老人保健施設（老健）とは？

介護老人保健施設は、要介護者であって在宅復帰を目指している方を対象としています。

食事や排泄の介助といった介護サービスも提供されますが、可能な限り自立した生活を送ることができるよう、リハビリテーションが中心となる施設です。略して「老健」とも呼ばれています。

特養と同様に、公的な介護保険施設の一つです。病気やけがで入院し、病状が落ち着いたものすぐに自宅に戻ることが困難な方が、入所の対象となります。介護老人保健施設は在宅復帰を目指す施設であるため、入所期間は概ね3カ月から6カ月程度と短期間です。

老健と特養の違いとして、老健は在宅復帰、入所期間制限があります。特養は重度介護対応の生活施設、入所期間制限がありません。また老健には常勤医師がおり、特養と比べると看護師の配置人数が多く、理学療法士や作業療法士等のリハビリ専門職の配置も義務付けられています。

ケアハウス

敬老の日特集

感染対策により、今年の希望の日は式典を行わず、食事会としてお祝いをさせて頂きました。

今年は百寿のお祝いの方もおられ、例年以上に嬉しい会となりました。入居者有志の演奏会も行われ、楽しいひと時を過ごすことができました。

アドナイ館 ご長寿節目の皆様

- 百寿 鶴見 ささゑ 様
- 卒寿 片岡 公子 様
- 斎藤 一彦 様
- 長澤 敦子 様
- 飯島 謙一 様
- 川島 香代子 様
- 増井 郁子 様
- 大井 秀子 様
- 佐藤 暢豊 様
- 菅原 麗子 様
- 原 春香 様
- 清 文恵 様
- 傘寿

「ご長寿者様から一言」

米寿へ感謝

川島 香代子

八十八歳の朝を自然の豊かな浜松の地で迎えられる今日を感謝します。

昭和二十年八月の敗戦で韓国の京城(現ソウル)から引き揚げた時は小学五年生でした。

高卒後、上京し、経理事務所に就職して主人と下谷教会で出会った。三人の子に恵まれました。米寿の今、娘の住む浜松で主人と共にアドナイ館で暮して十年になりました。この地は、自然がおだやかです。何より有難いのは、歩いて十分、遠州栄光教会で礼拝を捧げられる恵みです。

世界の平和が守られますように祈ります。さまざま人生を歩まれたアドナイ館の皆様と終末の日まで感謝して生きていきたいです。

感謝の日々

佐藤 暢豊

七月二十九日の厚労省公表の簡易生命表では、昨年度の日本人の平均寿命は女性が八七・五七歳、男性が八一・四七歳でした。私も今年八十歳「傘寿」を迎えることになりました。今にして思えば、こうして健康で長寿を迎えることができたのも、親達が敗戦時前後の食糧難等々筆舌に尽くし難い世情の中で、せめて幼い我が子には少しでもひもじい思いをさせまいと、なり振り構わず必死に働き養い育ててくれたお陰です。ありがたいことでした。感謝の一言です。今更ながら「親のありがたさ」がふっと私の胸をよぎった今年の「希望の日」でした。ありがとうございます。



鶴見 ささゑ 様
祝100歳
おめでとうございます

ケアハウス日誌

7月

- 2 花の植え替え
- 2・9・16・23・30 移動スーパ―

- 4 七夕飾りつけ
- 6 収入申告調査

- 8 自動車文庫
- 10 参議院選挙

- 12 西松衣料
- 13 買い物ツアー

- 21 ビューティーヘルパー
- 22 フラワー教室

- 25 〃 コロナ陽性者対応

8月

- 〃 9 コロナ陽性者対応
- 6・20・27 移動スーパ―
- 10・24 買い物ツアー

- 18 ビューティーヘルパー

9月

- 1 防災訓練
- 3・10・17・24 移動スーパ―

- 7・21 買い物ツアー
- 14 自動車文庫

- 16 ビューティーヘルパー
- 17 フラワー教室

- 希望の日(敬老会)

今年度、
細江デイサービスセンターで

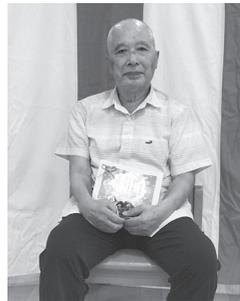
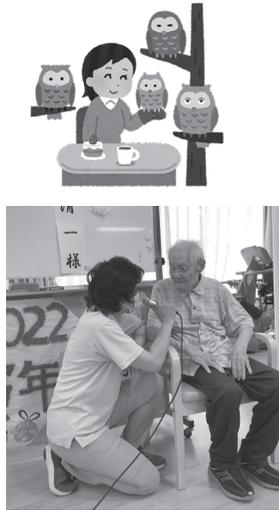
百寿

を迎えるお二方です。

デイサービス

おめでとうございます。

皆様へ職員手作りのフクロウの置物やキーホルダーをプレゼントいたしました。フクロウは、福が来る、幸福で豊かに年を重ねる、幸福な人生になるという意味があります。



(((♪ デイサービス日誌 ♪)))

| | レクリエーション | | | | |
|----|----------|----------|------------|-------|----------|
| | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
| 7月 | 個別グループ活動 | 個別グループ活動 | 個別グループ活動 | おやつ週間 | 個別グループ活動 |
| 8月 | 個別グループ活動 | 個別グループ活動 | 個別グループ活動 | おやつ週間 | 個別グループ活動 |
| 9月 | 個別グループ活動 | 個別グループ活動 | 敬老祝会、おやつ週間 | おやつ週間 | 個別グループ活動 |

(((☆ デイサービスの動き ☆)))

| | | | | |
|------------------------|------|-------------|-----------------|---|
| 【デイ会議】 7/21 9/22 | 【出張】 | 【サービス担当者会議】 | 【実習】 9/5~9/9 | 【ボランティアの皆様へ】 現在は新型コロナウイルスの影響によりご遠慮頂いています。状況が落ち着いた際は、またお願い致します。 |
|------------------------|------|-------------|-----------------|---|

新職員紹介



鈴木 敬二

出身地 浜松市
部署 門 デイサービス

八月に浜松十字の園から異動してきました。在職年数は長いですが、デイサービスは未知の分野ですので、一から勉強させていただいています。宜しくお願いします。

コロナ禍における交わりの場の模索

九月に入り新規感染者数は減ってきていますが、まだまだ油断ができません。館内での行動制限はしていませんが、感染したら一大事と、結局、各種行事や個々のサークル活動も、自主規制の名のもと延期か中止。皆様のモヤモヤが伝わります。

そんな中、入居者からの「何かヤルことある？」の声にウエス作りをお願いした所、あれよあれよとロビーに人が集まり、ワイワイガヤガヤと賑やか



にこやかな表情でこの空間を楽しんでいます。こんな時だからこそ、人が交わる場所を設けなければと思われました。

曳馬野

のうぜんの 重たく揺れる 朝の路
あじさい

「また逢う日まで」 うたう別れは何ならむ
春海

朝も昼も慣れし廊下の有難く
五階に住みて心ひろがる
佐和子

散りてなお心に残る撫子の
細き花卉に秋の風吹く
陽出子

セーフティードライバーコンテスト入賞!

7/14(木)に開催された「第13回細江地区セーフティードライバーコンテストにおいて、細江デイサービスセンター職員が準優勝となり、県大会への出場が決定しました。



職員 市川桂子

ご利用の皆様にも、安心して送迎車に乗っていただけるよう、今後も職員全員で安全運転に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染対応(3回目)

7月25日～8月9日まで、アドナイ館3回目となる新型コロナウイルス感染発生対応を行いました。

感染者は入居者5名。同じ食卓だったり、お風呂が一緒の方でした。

早期発見につながるよう、皆様の体調確認に気を配っていた為、厨房職員からの「〇〇さんの声、いつもと変わらない？」の一言で館内緊急体制に。

結果は上記の通り。感染対策は初動が大切と改めて考えさせられました。

気づいた厨房職員に感謝です。

あとがき

秋の夜長の風物詩といえば「スズムシの声」。長く楽しめるようにと2ケース飼育してみたら張り合うように大合唱：何かが違う秋の夜長に頭を痛めています。

さて、そんなスズムシの合唱ですが、電話を通しては全く聞こえないそうです。スズムシの声は4000ヘルツととても高い音。電話は3400ヘルツまでの周波数しか通さない為聞こえないようです。

ちなみにコオロギやキリギリスも聞こえないそうです。(SHI)

『献金者ご芳名』

(敬称略)

献金感謝

Table with 2 columns: Month, Amount. 7月分 1件 5,000円, 8月分 1件 10,000円, 9月分 4件 38,000円, 合計 6件 53,000円, 4~9月累計 125,000円

募集

アドナイ刊へのご感想をお寄せ下さい。(編集委員会)

- 匿名一名 7月
山本 規様 8月
深谷春男様、片岡公子様、片岡 愛様、匿名一名 9月